

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																							
ET451001		国語科指導法特論(Special Seminar in Methodology of the Japanese Language Education)					教科実践																							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																								
選択	2	1	大学院教育学 研究科	前期		氏名 花坂歩 E-mail 内線																								
授業の概要	学部における国語科指導法(小)や(中)、国語科授業論などにおける学習成果を基礎として、国語科教育における今日的課題を取り上げ、その問題点及び改善方法について、考察する。																													
具体的な到達目標											DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
目標1 国語科教育の今日的課題を、時代の流れとともに説明できる。																														
目標2 国語科教育の今日的課題に対する自分なりの改善策を提示できる。																														
目標3																														
目標4																														
目標5																														
目標6																														
目標7																														
目標8																														
目標9																														
目標10																														
授業の内容																														
1 国語科教育の今日的課題																														
2 「話すこと・聞くこと」にかかわる研究成果と今日的課題																														
3 「書くこと」にかかわる研究成果と今日的課題																														
4 「読むこと」にかかわる研究成果と今日的課題																														
5 「伝統的な言語文化」にかかわる研究成果と今日的課題																														
6 「国語の特質」にかかわる研究成果と今日的課題																														
7 「ICTの活用」にかかわる研究成果と今日的課題																														
8 「読書活動の推進」にかかわる研究成果と今日的課題																														
9 国語科教育学における実証的研究の方法																														
10 国語科教育実践における事例研究の方法																														
11 公立学校における実践研究の検証～「話すこと・聞くこと」																														
12 公立学校における実践研究の検証～「書くこと」																														
13 公立学校における実践研究の検証～「読むこと」																														
14 公立学校における実践研究の検証～「知識及び技能」																														
15 これからの時代に求められる国語科教育学の役割(総括)																														
ラーニング チェック ポイント マップ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造		国語科教育における今日的課題を取り上げ、その問題点及び改善方法について、レポート作成に取り組みながら、協議を通して、考察する。										工夫 その他																	
時間外学習 の内容と時 間の目安	準備 学修	参考書を読み、概要をまとめておく。																												
	事後 学修	授業の内容を踏まえ、小考を作成する。																												
教科書	特に指定しない。																													
参考書	『国語科教育学研究の成果と展望』(全国大学国語教育学会編、学芸図書)、『月刊 初等教育資料』(東洋館出版)及び『月刊 中等教育資料』(学事出版)の既刊及び最新刊。その他、授業中に指示する。																													
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10																		
	各回の小考	40%																												
	最終レポート	40%																												
	ディスカッション	20%																												
注意事項	なし																													
備考	なし																													
リンク																														
	URL																													